

クイズに挑戦♡ ~わかる・できる・喜ぶ・国語専科のすすめ~

“石川塾名物講座”で国語力をつける♡自分では選ばない作品でも、読んでみると面白い作品ばかり♡
読み継がれてきた作品から新しいものまで、豊富なラインナップ♡読めば世界が広がるよ♡

『読解力がグングンのびる！齋藤孝のゼツタイこれだけ！名作教室 小学4年(上)』齋藤孝/講談社



【掲載作品】●よだかの星/宮沢賢治●壊れたと壊したは違う/向田邦子/●ロミオとジュリエット/シェイクスピア●言葉の成り立ちを学ぼう/故事成語「愚公山を移す」●月の輪グマ/棕鳩十●詩のひろば/こだまでしょうか/金子みすゞ●五体不満足(抜粋)/乙武洋匡●三銃士(抜粋)/デュマ●夢十夜/夏目漱石●詩のひろば/道程/高村光太郎●魔術/芥川龍之介

在塾生 通常授業(15分サービス)で受講できますので申し出てください♡

持ち物 10ミリ方眼罫ノートを使用します

単元学習のススメ♡国語専科:受講料

(小中高大学生も)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

(お母さん大人も)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

(教材資料施設費)ひと月1500円(新規塾生・大人の方)

大人へ幾何への誘い講座 ~わかる・できる・喜ぶ・算数専科のすすめ~

『幾何への誘い』小平邦彦/岩波書店



フィールズ賞受賞数学者による市民のための幾何入門。平面幾何は定木とコンパスを使って描いた図形の現象を研究する自然科学。つまり「図形の科学」である。平面幾何の厳密な体系をわかりやすく展開し、さらに現代数学からの考察、複素数の平面幾何への応用までをたどる。読み進むうち、いつしか幾何の世界に魅了されていく。石川塾長と一緒に幾何の旅へ出発♡

在塾生 いつでも希望すれば通常授業の時間内に受講できます♡

単元学習のススメ♡算数専科:受講料

(小中高大学生も)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

(お母さん大人も)1時間500円(ひと月4回4時間2000円)

(教材資料施設費)ひと月1500円(新規塾生・大人の方)

御希望の方は 塾長まで! TEL 042-710-5768

歴史的かなづかひ⑦ 『私の国語教室』/福田恆存(ふくだ・つねあり)/文春文庫

「金色(こんじき)の ちひさき鳥の かたちして いてふちるなり 夕日の岡(おか)に」 与謝野晶子(よさの・あきこ)
石川塾の朗読暗唱で誰もが始めに習う与謝野晶子の短歌です。「ちひさき」と書いて「ちいさき」と、「いてふ」と書いて「いちよう」と読みます。「てふてふ」なら「ちょうちょう」と読みます。どうしてでせうか。なぜそう読めるのでせうか。これから日本語の<歴史的かなづかひ>を皆さんと一緒に辿り遡っていきます。

さらに二三の付帯事項があります。「言う」は発音どほりということになると、「ゆう」と書くべきかもしれぬが、「いう」と書かねばならぬ。理由は「その語幹が動かないという意識があるとして」ださうであります。すなわち、「ゆう」と書くことにすると、否定のときは「いわない」ですから、「ゆ」が「い」に變り、語幹が變化する。變化してしまつたのでは語幹とはいへぬので、これは「當然」の處置といへませう。それなら、「おめでとう」「たこうございます」はどう説明するのか。「おめでとう」は歴史的かなづかひでは「おめでたう」であり、接頭語「お」と動詞「めでる」と助動詞「たい」との合成語であります。あるいは「めでたい」といふ形容詞で考へてもいいでせう。「たい」「めでたい」の活用は「○・(めで)たく・(めで)たい・(めで)たい・(めで)たけれ・○」となり、「おめでたう」は「おめでたく」の音便形で語尾の「く」にのみ變化が起つたことを示し「た」は語幹あるいは語幹の一部として不變です。それが「現代かなづかひ」では「めでとう」と書きますから、「たい」を助動詞として分析すれば、語幹が變つたことになり、「めでたい」の一語と考へても語幹の一部が變つたこととなります。

(第一章「現代かなづかひ」の不合理)(続く)